

子ども会活動のしおり

Vol(volume) 3 「活動編」

地域で行われている子ども会
行事に参加しましょう



目次

- ・子ども会活動の基本……………1p
- ・子ども会活動の四季……………2p
- ・子ども会活動の支え……………3p
- ・子どもと一緒に大人も参加……………4p



子ども会活動の基本

地域によって子ども会活動は様々ですが、
次のようなことが活動の基本となっています

- ◎活動を進めるための話し合い
 - ・定例会・役員会・打ち合わせ会・定期総会
- ◎活動内容を知らせる
 - ・連絡網等の活用・通知文配布・広報誌発行
- ◎活動を安全に進めるための教育
 - ・研修会・「KYT（危険予知トレーニング）」
- ◎行事の実施
 - ・活動の主体となる、恒例の行事
 - ・会員の発案により行う行事
 - ・地域とのふれあい、社会参加をすすめる行事
 - ・多くの人たちとの交流、社会に貢献する行事
- ◎振り返り活動
 - ・アンケート・反省会・広報誌発行

**「何をいくつかやったか？」ではなく、活動
のプロセス(過程)を大事にしましょう。**

子ども会活動の四季

実際行われている具体的な活動例を見て
みましょう

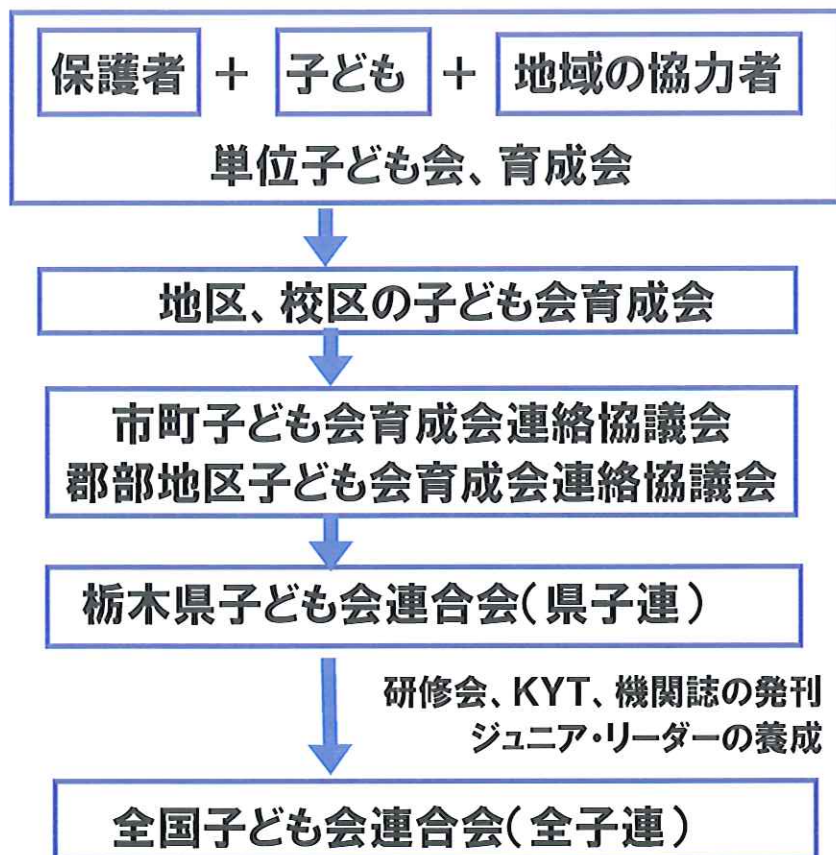
- 春** 定期総会・歓送迎会・お花見会・ひな祭り
春休み・卒業式・入学式・こどもの日
母の日・みどりの日・愛鳥週間
- 夏** 七夕まつり・盆踊り・キャンプ・海水浴
父の日・夏休み・お盆
- 秋** お月見・スポーツ大会・敬老の日・体育の日
読書週間・ハロウィン・文化の日・七五三
- 冬** クリスマス会・お正月・かるた取り大会
餅つき大会・凧揚げ大会・書初め
どんど焼き・節分・豆まき・冬休み

四季を通じて

- ・ 伝統行事（お祭りなど）・郷土文化の継承
（お囃子踊りなど）・学習会・研修会・研修旅行
遠足・資源物回収・清掃活動・広報誌発行など
たくさんの行事が行われています。

子ども会活動の支え

基本は子どもと保護者からなる家庭です。接する人が増えることで社会性を養うことができます。



全子連では、子ども会活動を支えるため共済事業と賠償責任保険を行っており、各県子連が取次事務を担当しています。

子どもと一緒に大人も参加

子ども会活動の内容は地域によって様々ですが、異なった年齢の子どもたちが集まって群れ遊ぶことが基本です。

しかし、一部の指導者に頼り子どもたちだけを活動に送り出すだけの活動参加は、保護者として避けましょう。子どもと、保護者が共に参加することで情報を共有することができるばかりでなく、多くの人とより早く打ち解け、地域の実態を把握することもできるでしょう。

保護者も積極的に参加し子どもたちに手本を示し活動の中から多くのことを学習し合いましょう。